

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 51

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		給食センター調理業務委託事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	学校給食係	
	管理職	職名	給食センター所長	作成者	職名	技師補
		氏名	横田和幸		氏名	柳生幸子
事業の概要	給食センター調理業務について、民間委託を実施する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
					事業費	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	68,784 千円
					事業費計	68,784 千円
実施方法	直営	■	民間委託	□	その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■	登載事業	□	非登載事業	優先度 B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	12	学校教育の充実			
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実			
	事務事業の種類	■	自治事務	□	法定受託事務	
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	13,772 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円
	合計	13,772 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小中学校児童生徒及び教職員等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	調理員の確保とコスト削減が課題となっている。	衛生面で安定した給食供給の維持		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	調理業務の民間委託による調理員の確保により、調理の迅速化を図るとともに、民間のノウハウを生かした給食内容の充実を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成23年度
		① 正規調理員の数	目標値	5 人
			実績値	5 人
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	民間委託により、民間のノウハウや専門性、柔軟性を取り入れた衛生面の充実及び給食の質の向上を図り、安定した給食の提供を実現する。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
給食の調理業務を民間業者に委託	町外調理会社との委託契約により、調理業務を遂行した。			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	栄養計画やそれに伴うレシピ作成については、教育的配慮から行政が責任をもって行う必要があるが、調理部門については信頼できる民間に委託することにより、調理員の衛生管理や分業において有利であり、コストの削減につながるため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	調理業務を民間委託したことにより、民間のノウハウや専門性、柔軟性を取り入れた衛生管理の充実及び給食の質の向上が図られ、安定した給食の提供を実施した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	長期継続契約による安定した委託コストによる業務遂行が図られ、効率性が保たれた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	町内小・中学校の全児童生徒に対し、安定した給食の提供を行うための調理業務の民間委託であり公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
調理業務の民間委託による安定した給食の提供実現のため、計画どおりの事業を達成した。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
今後の児童生徒数の推移により事業規模等に変動も予想されるが、安定的でコストの安い給食の提供を実現するためには、調理業務を民間委託することが重要であり、本事業を継続して実施することが必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 52

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		学校給食センター施設整備事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	学校給食係	
	管理職	職名	給食センター所長	職名	技師補	
	氏名	横田和幸		氏名	柳生幸子	
事業の概要	学校給食センターについては、昭和54年に開設以来30年以上経過しており、施設や調理用備品の老朽化が激しいため、施設の維持補修及び調理用備品の計画的な更新を実施する。					全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)
						事業費
						国・道支出金
						千円
						地方債
						千円
						その他
						千円
						一般財源
						38,452 千円
						事業費計
						38,452 千円
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	12	学校教育の充実			
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	22,260 千円	1,806 千円	2,413 千円	10,440 千円	5,191 千円
	合計	22,260 千円	1,806 千円	2,413 千円	10,440 千円	5,191 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小中学校児童生徒及び教職員等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	施設や調理用備品の老朽化により、調理作業等に支障を来している。	調理用備品の更新及び施設の維持補修			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設の維持補修及び調理用備品の更新により、調理作業の効率化と衛生環境の向上を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① 調理用備品更新数	目標年度	平成23年度	
			目標値	2 件	
			実績値	3 件	
達成度	150.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	調理作業の効率化及び基準に即した衛生管理の徹底により、安全で安心な給食の提供を実現する。	② 施設の維持改修箇所	目標年度	平成23年度	
			目標値	3 件	
			実績値	3 件	
		達成度	100 %		
内容(どのような手段で何を行ったか)					
①調理用備品購入(更新)	蒸気回転釜 2台(2,982千円)、食油濾過機 1台(588千円) ボイラー室パネルヒーター 1台(129千円)				
②施設の維持補修箇所	厨房内給気・排気設備交換修繕工事(977千円)、厨房内床改修工事(3,622千円) 屋根塗装改修工事(2,142千円)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	給食を提供する施設として、学校給食衛生管理基準等に基づき、食中毒等の事故が起こらないよう衛生的な調理環境を保持する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	施設の維持補修及び調理用備品の更新により、衛生環境が向上し、調理時間が短縮するなど、調理作業の効率化も図られ、安全で安心な給食の提供を実施した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	調理用備品の更新については、給食数の推移を見極め、適正な規模に見合う安価なものを購入するなど、コスト削減に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町内小・中学校の全児童生徒に対し、安全で安心な給食の提供を行うための施設や調理用備品の整備であり公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
調理作業の効率化及び衛生管理の徹底による安全で安心な給食の提供の実現のため、計画どおりの事業を達成した。		



継続／現状維持		
調理作業の効率化及び衛生管理の徹底による安全で安心な給食の提供を実現するためには、老朽化した施設の維持補修及び調理用備品を計画的に更新することが重要であり、本事業を継続して実施することが必要である。		

* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--